



伊賀市立三訪小学校

2025年9月30日 №8

発行責任者 青山 幸輝



QRコード：三訪小HP

ぜんこくがぐりょく がくしゅうじょうきょうちょうさ けっか

全国学力・学習状況調査の結果より

がくりょくじょうさ けっか

I. 学力調査の結果

こくご ぜんこく くら うわまわ
国語：「全国と比べて上回っている」さんすう ぜんこく くら うわまわ
算数：「全国と比べて上回っている」りか ぜんこく くら うわまわ
理科：「全国と比べて上回っている」

*「全国と比べて上回っている」⇒本校の正答率が、全国正答率に対して+5%以上であることを表しています。

がくりょく じょうきょう

2. 学力の状況

【設問ごとの結果から分かった本校の子どもたちの強み】

● 国語

○事実と想構、意見などの関係を文章から読み取り、要旨を把握することができる。

《問題》資料を読み、【木村さんのメモ】の空欄に当てはまる内容を選択する。

○書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えることができる。

《問題》伝統工芸品をすいせんするチラシの文章構成の工夫を説明したものとして、適切な文を選択する。

○漢字を文の中で正しく使うことができる。

《問題》「このみに合わせて」「あつい日」を漢字と送り仮名で書く。

● 算数

○示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができる。

《問題》資料から2個で70gのピーマン1個と4個分で70gのブロッコリー4個のグラム数を求める。

○数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉えることができる。

《問題》一目盛りがーの数直線の一つ目と五つ目の数値を書く。

○異分母の分数の加法の計算をすることができる。

《問題》 $\frac{1}{2}$ + $\frac{1}{3}$ の計算

● 理科

○顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身についている。

《問題》顕微鏡の像を見やすく操作した方法がわかる。

○レタスの種子の発芽条件について問題を見つけ、表現することができる。

《問題》発芽するために、問題な環境をてるみさんの発言から考える。

○氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、知識を概念的に理解している。

《問題》水が陸から海へ流れいくことについて、水の行方と関連付けているものを選ぶ。

【設問ごとの結果から分かった本校の子どもたちの課題】

▲ 国語 ▲

○目的や意図に応じて、日常生活から題材を決め、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。

《問題》小森さんがどのようにインタビューを進めようと考えて発言したのかを答える。

○自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。

《問題》小森さんが傍線部の発言をした理由を選択肢から選ぶ。

▲ 算数 ▲

- 目的に応じて適切なグラフを選択し、出荷量の増減について、その理由を言葉や数字で表現する。
- 《問題》都道府県別のブロックドドーの出荷量の増減を調べるグラフを選び、出荷量の増減の理由を書く。
- 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数について記述する。
- 《問題》 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ のもとにする数を求め、 $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ がもとにする数の何個分かを数や言葉を使って書く。

▲ 理科 ▲

- 身の回りの金属について、電気を通すもの、磁石に引きつけられるものの知識が身についている。
- 《問題》アルミニウム、鉄、銅は電気を通すか、磁石に引きつけられるかを問う問題
- 電流がつくる磁力について電流の強さはコイルの巻き数によって変わることの知識が身についている。
- 《問題》ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるコイルの巻き数の考え方を書く。

3. 学習の状況

【良いところ】

学習意欲

- 「国語の勉強は好き」と回答した児童が、全国に比べて、1.7ポイント高い。
- 「算数の勉強は好き」と回答した児童が、全国に比べて、2.1ポイント高い。
- 「理科の勉強は好き」と回答した児童が、全国に比べて、19.9ポイント高い。
- 「読書が好き」と回答した児童が、全国に比べて、10.3ポイント高い。

自尊感情・将来の夢や目標・人権意識

- 「自分には良いところがある」と回答した児童が、全国に比べて、13.1ポイント高い。
- 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童が、全国に比べて、16.9ポイント高い。
- 「いじめはどんな理由があってもいい」などと回答した児童が、全国に比べて、2.8ポイント高い。

【課題】

家庭学習の時間

- 「学校以外で普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。」

3時間以上:0%	2時間以上3時間未満:0%	1時間以上2時間未満:60%
30分以上1時間未満:40%	30分未満:0%	しない:0%
- 「学校以外で学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。」

4時間以上0%	3時間以上4時間未満:0%	2時間以上3時間未満:20%
1時間以上2時間未満:0%	1時間未満:80%	しない:0%

ちょうさけっか

4. 調査結果より

本校の平均正答率は、3教科とも「全国と比較して上回っている」という結果でした。課題に向けて昨年度からの継続した取組の効果が表れてきています。また、本校の課題の一つである記述問題では、条件を満たして書いている子が多くいました。子どもたちが粘り強く学習に向き合ってきた結果であるとされています。

児童質問紙では、各教科の学習意欲が全国平均よりもやや上回っていたものの、理科以外の国語、算数は全国平均並となっています。そのため、さらに学習意欲を高める日々の学習での取組を継続していく必要があります。学習時間については、全国平均よりもやや下回っているという結果が出ています。これは、スクリーンタイムの時間と大きく関連していると考えられます。そのため、スクリーンタイムの時間の管理が課題としてあげられます。ご家庭でもスマホやタブレット(学習以外)での機器の使用について再度ご確認をお願いします。今回の調査での課題等の改善に向けて、今後も取り組んでいきたいと考えています。ご家庭でも、家庭学習やスクリーンタイム、読書の時間等、お子さんといっしょに考えていただければと思います。